



2017-18
国際ロータリーテーマ

ロータリー：
変化をもたらす

Rotary イアン H.S. ライスリー



2017~2018年度 標語
共に学び 共に奉仕を

諫早西ロータリークラブ
会長 塚原 浩三

第1548例会 2017年11月1日例会記録 NO.16 天候 晴

【本日】会員数 44名 出席 37名 欠席 5名 免除 2名 (出席0名) 出席率 88.09%
【10/18】会員数 44名 出席 40名 欠席 2名 (MU 5名) 免除 2名 出席率 95.23%

会長の時間



フォトジャーナリストの安田菜津紀さんの話です。高校2年生の時に、「国境なき子供たち」が主催する「友情のレポーター」というプログラムに子供記者としてカンボジア取材に参加されたそうで、「幸せて何だろう」という題でそのことを書かれています。

”カンボジアで目の当たりにした子供たちの日常は、確かに過酷な環境と言わざるを得なかった。根強い貧困、忍び寄る人身売買の手。しかし、それでいて私は不思議とそこに豊かさを見い出していた。例えば、スラム街にお邪魔すると、狭い小屋の中に子供たちが川の字になって仲良く眠っている。「皆、お母さんのお子さんですか？」と尋ねると「この子はうちの子、でもこの子は隣の子で、

その子は…分らないけど、まあいいわ!」。けらけらと笑いながらも、さも当たり前のようにそう話すのだ。

バスを待つ列の人々や、たまたま信号待ちをしているバイク同士、一見長年の友人のように話していても、実はただの通りすがり同士だったりもする。ここでは家族の定義が広いんだ……。おおらかに、そして自然と結びつき合う人々と過ごした十日間は、私の日本社会への目をも変える事となった。

「カンボジアはよかった、としみじみしているだけでは何も始まらない。カンボジアで学んだことを、身近に持ち帰らなければ」。

自分の周りの家族の定義を変えてみよう。今、社会に出て数年が経つ同世代の中には、生きづらさを抱える人、生きる意味を感じられない、と訴える人も少なくない。これだけ通信手段が発達してもなお、誰かの「助けて」というサインに、走って駆け付けられる距離にいられるかどうかで人の心のあり様は大きく変わる。それは十四年前、カンボジアから帰国し、切実に感じ続けていることの一つだ”

私は、これを読んで、カンボジアは別にして、ロータリークラブでも言えることで、この西クラブの誰かが「助けて」というサインをだせば、走って駆け付けられる距離にいたい。友人というよりも、親戚のような、いや家族感覚のクラブになれるように頑張りたいと思いました。

会長／塚原 浩三 幹事／山本 健志 創立日／昭和60年2月20日 認証日／昭和60年3月5日
例会場／平安閣 諫早サンプリエール(毎週水曜日) 〒854-0053 諫早市小川町71-1 TEL(0957)24-3907
事務局／諫早商工会議所内 〒854-0016 諫早市高城町5番10号 TEL(0957)22-3323
会報委員／清水 淳・立野 守・久保泰正・池田久幸・佐藤真太郎
HP/<http://isahaya-west.com> E-mail/info@isahaya-west.com

幹事報告

【例会変更】

※諫早多良見ロータリークラブより

①日 時：平成29年11月14日(火)

⇒12日(日) 8:10～

場 所：福岡国際センター(福岡市博多区築港本町2-2)

※大相撲九州場所観戦日帰りバス旅行のため

②日 時：平成29年11月28日(火) 12:30～

場 所：ソニーセミコンダクタ

マニファクチャリング(株)長崎TEC

(諫早市津久葉町1883-43)

※職場訪問例会のため

【お知らせ】

※国際ロータリー日本事務局より

11月ロータリーレート 1ドル=114円

※諫早市より

「市川森一記念文化講演会の開催について」

日 時：平成29年11月26日(日) 13:30～15:40

場 所：諫早文化会館 大ホール

内 容：講演／「日本人はなぜ日本のことを知らないのか」

講師／竹田恒康(作家)

対談／お相手・柴田美保子(女優)

※入場無料、全席自由席、託児室無料(予約制)、
手話通訳有

【11月誕生日】



南部 仁君 昭和30年11月9日

江嶋 利満君 昭和42年11月9日

【11月結婚記念日】



草野 恵介君 昭和55年11月5日

福田 和幸君 昭和44年11月14日

荒木 公義君 昭和50年11月22日

【ウエスト会】



江嶋 委員長



南部 仁君：おかげさまで、今年の誕生日も生きて皆様にお祝いして頂き、感謝にたえません。ありがとうございます。

江嶋 利満君：誕生祝ありがとうございます。50回目の誕生日、今夜のケーキが待ち遠しいです。

荒木 公義君：昭和50年11月22日に結婚し、指折り数えると連れ添って早いもので、42年になるんですね。

草野 恵介君：あれから38年、妻に依存している毎日です。お祝いありがとうございます。

永井 栄次君：先日、家族旅行に行って来ました。金沢・黒部に、紅葉は少し早かったようです。あいかわらず、中国人と老人が多かったです。疲れしました。

福田 和幸君：結婚祝ありがとうございます。残り少ない人生、これからは仲良くやっていきます。

木村 暢義君：何んもなかばってん、スマイルします。
 荒木賢治郎君：気のきいたことも言えませんが、ニコニコ
 させていただきます。

本日の合計(11/1)	累 計 額
¥ 2 3,0 0 0	¥ 4 7 0,0 0 0

クラブフォーラム

『第 1 回家庭集会』発表

テーマ：①会員増強について
 ②I・Mについて

A 班



吉田 会員

日 時：10月11日(水) 18:30～21:00

場 所：闇市 蔵

出席者：高瀬 善久（リーダー）

吉田 健一郎（セクレタリー）

平野 義信、山崎 祥弘、森 由有、佐藤 幸雄

岩下 和明、佐藤 真太郎、宇土 久

①会員増強について

1. 会員増強委員会の木村委員長より「クラブの運営・活動が楽になるよう50人態勢にしたい。現在、推薦も上がっているが、もう一人位推薦してほしい。」との言葉を頂きました。
2. 若い年代を見回すが年代的に40代～50代を知らないのと、その世代は仕事に精通していて、時間的な制約があるため難しい。
3. 班員各自、近隣を見渡して推薦したい候補者を実名で出して頂きました。

②I・Mについて

1. 森I・M実行委員長より、今度のI・Mでは、変革した方がよい部分、現状のままでよい部分を見直して欲しいとの説明がありました。
2. 実行委員会で綿密な打ち合わせをされているので、一任したいと思います。

B 班



木村 会員

日 時：10月11日(水) 18:30～21:00

場 所：闇市 蔵

出席者：木村 暢義（リーダー）

永井 栄次（セクレタリー）

辻本 善樹、山口 大司、南部 仁、日高 正朗

川野 弘茂、久保 泰正、吉次 良治、小野 秀喜

ゲスト：塚原 浩三

①会員増強について

1. 多くのクラブを訪問したが、西クラブの雰囲気はどこにも無い和やかで、会員みなさんが例会を楽しんでいます。このようなクラブの特徴をしっかりと相手に言い伝えることが最も重要であり増強に繋がると思います。
2. 新会員にあたっては親睦を中心に参加を募り、早くクラブに馴染んでもらうことが必要で、クラブの委員会活動にも積極的な参加を促し、ロータリーのやり甲斐を感じさせる事も、現会員の最も必要な役目であると思います。
3. 会員増強も大事だが、入会候補者の人柄や職業分類等は慎重に扱うことが必要になってきます。既存会員との関係から、せっかく増強したのに現会員の退会につながっては話にならないので、周りの会員の意見を聞くのもスムーズな会員選考になると思います。

②I・Mについて

- ・本日の家庭集会メンバーにI・M実行委員長の森 会員が出席されていたので、再度開催にあたっての説明が、きめ細かく具体的にありました。まずは、当クラブの小野ガバナー補佐の一番の行事であるI・Mを成功させるために皆さんの協力をお願いしました。

会員増強委員会 木村 委員長より

- ・家庭集会A班、B班が重なり、まずは各班から2名の推薦候補者の情報を早めに挙げて頂くことを確認しました。

- ・早速、A班の高瀬会員の推薦候補と平野会員から候補を上げてもらいました。本当にありがとうございました。今回の目標3名はいけそうです。あと、昨年の達成出来なかった2名まで頑張りたいと思います。

C 班



野中 会員

日 時：10月11日(水) 18:30

場 所：平安閣

出席者：野中 英己（リーダー）

御厨 善光（セクレタリー）

平 武、早田 和彦、馬渡 信也、草野 恵介

清水 淳、荒木 賢治郎、江嶋 利満

ゲスト：山本 健志

①会員増強について

- ・業種毎に班編成を行い、各チームで一名を推薦する。職業分類を見て、空いている業種を中心に考えてみてはという意見がありました。

②I・Mについて

1. 1～3年未満の会員は極力出席する勉強会であります。
2. クラブ全員への周知を図る為、I・Mの企画室から内容、趣旨等を簡潔に発表して欲しいです。

③その他

1. ニコニコの発表は事前によく読んで不明な点は本人に確認し、上手にユーモアを持ってやって欲しいです。また、内容についても、会員各位の個人的な出来事を注視し、ニコニコへ協力を誘うようにした方がよい。
2. 例会のゲストの側には親しい人を座らせてあげるようにしましょう。
3. 親睦委員会は、来客またはゲストを、受付から食事、お帰りになるまでエスコートし、食器も下げる様にした方がよいです。
4. SAA は食事の内容をチェックして、無駄の無い様にして欲しい。
5. 無断欠席も散見されるので、各自、再度自覚して欲しいし、無断欠席になってしまった時には次回例会でニコニコを行う等の心遣いが欲しいです。

6. 家庭集会で挙げた意見について、会長は内容を精査し、必要性のあるものは理事会に図り、クラブ内の活動に反映させた方がよいと思いました。

D 班



古賀 会員

日 時：10月18日(水)

場 所：古都（小川町）

出席者：古賀 秀次（リーダー）

原田 典範（セクレタリー）

塚原 浩三、松井 純治、福田 和幸

吉野 尋隆、毎熊 正太郎、立野 守、千住 良治

荒木 公義、宮本 峻光 (make up)

①会員増強について

1. クラブ運営的には40人の会員は必要であるが、今のR.I.の『なにがなんでも会員を増やせ』の風潮には疑問があります。
2. 諫早のロータリークラブが5クラブ、ライオンズクラブが4クラブという現状から、会員数の大幅な増加は困難ですし、西クラブ最盛期の50名半ばを超えるのは難しいと思われます。
3. 会員の高齢化を考えると、若手会員を増やすことが急務ではないかと思えます。どうしても同年代のつきあいが主となることから、若手会員の勧誘・推薦は若手に頑張って頂きたいと思えます。
4. 1業種1会員から複数の会員にしたのは良かったのかどうか、業態によりけりの部分もあるので、慎重さが求められる場合もあります。
5. 医者など、仕事の関係で時間が取れない人も多いので、定期的に夜の例会を開いてはどうかという意見がありました。
6. 退会した会員には定期的に声を掛けるようにした方がよいです。また、現会員が辞めない様なクラブ運営も大事です。

②I・Mについて

来年のI・Mを成功させるためにみんな頑張りました。